

Combined Fleet Girls COLLECTION FAN BOOK



おしっここれくしょん 改二編



Piss-Colle Second Remodels

Volume 14 for ADULT ONLY

ある夜の駆逐艦LINE

fbk_11dg 皐月ちゃん改二を讚えよ！

Akatsuki_Lady 讚えよ！

May_Sacchan へへ、ありがとー！

Kasumi 何なのよそのノリ。

fbk_11dg あ、霞ちゃん改二も讚えるね

Kasumi ついでに讚えなくてもいいわよ！ で、何なの？

Mutsukinyan うん

吹雪ちゃんとドックで話してたんだけど 睦月たち駆逐艦も
だんだん第二次改装される子が増えてきたじゃない

3Sd_19dg_Ayanami それだけ戦況がたいへんということでもあるんですけどね

Kissa30 それでね オトナになっていく私たちの 記録を残そうって話に…ね

Kasumi ……エロ写真撮ろうっての!? 夕張みたいに！ 夕張みたいに！

fbk_11dg 夕張さん代名詞なんだ……

エッチな好奇心は否定しないよ、女の子だもん

改二になった皐月ちゃんのおっぱいや霞ちゃんの毛、よく見たいし

Kasumi なっ

May_Sacchan ひゃー、ふぶきちの変態！

fbk_11dg でも半分は真剣

綾波ちゃんも言ったように、戦いは本当に激しい

私は早くに沈んだから上手くとえられないけど

その…最後まで知ってる霞ちゃんや初霜ちゃんのほうが実感できる
んじゃないかな

Kasumi ……ええ、そうね。色々なことを思い出してうんざりさせられるわ。

HatsuMofu 少し……こたえることは、あります

fbk_11dg だから 私たちのね

艦娘として甦って 戦って 生きた証を形にして残しておきたいの
いつ何があっても後悔のないように みんなの記憶に残るように

Kasumi ……。

fbk_11dg もちろん後ろ向きな気持ちじゃないよ？ 負ける気なんかないもん

NeueJahre01 まあ、自分のほった叩いて気合入れるようなものじゃな。

あまり深刻にならずに気前よく脱ぐがよいぞ、旗艦殿

Kasumi なんて堂々と脱衣を勧めるとのよ……。まあ……わかったわ。私も覚悟
を示したい。……その、自分の身体のことにも気になるし……。

Mutsukinyan これで決まりにゃ！

fbk_11dg じゃあ、ひとまず、まだ第二次改装受ける前に……例のアレ、撮ら
れた子に限定ということで。3日後に『営倉』でね！

HatsuMofu ちょっと恥ずかしいですけど、よろしくお願ひします

Kissa30 ふふふ、潮ちゃんのお胸をもふもふできるのね…うふふふふ…

fbk_11dg ふふふふふふふふ…

ShioShio ひうっ!?

Cloudy05 前任秘書艦として言っておくけど、あんまりハメ外さないでよね…

睦月型二番艦 如月改二

睦月型一番艦 睦月改二

下着姿

吹雪「きさちゃんは雰囲気も、下着なんかも元々オトナっぽいから、あんまり大きく変わったってイメージはないかも」如月「あら残念」潮「でもあの、ますます……綺麗になったと、思います。潮……子供っぽいから、うらやましいです」霞「あなたの自己認識には大いに問題があるわ」

吹雪「睦月ちゃん！」「睦月」にやにや「吹雪」はああエツチかわい「叢雲」特型のネームシップがコレってどうなのよ」綾波「あはは……でも、最近どつてもかわいくなつたと綾波も思います」初春「以前から気になっておったが、その下着は誰の選別じゃ？」皐月「ああ、きさちゃんだよ」如月「うふふ。サイズも何もかも、知ってるわ」吹雪「ひゅーひゅーだほ！」



胸部装甲・陰部

睦月「えへへ……毛が少し、生えました」吹雪「ああ」叢雲「何キリシタン
みたいな目で拝んでんのよ」如月「可愛いでしょう？ まだ上のほうだけで」
皐月「おっぱいもちよつと大きくなったよね。もう前のサイズじゃキツいつ
て言ってたし。いいなあ、ボクも大きくなるかな」霞「夕張が残念がりそう」



綾波「あの……お胸、触っていいですか」如月「ええ、もちろん」綾波「ふわあ
……」霞「暁「くっ」初春「その台詞、別のキサラギが口にしておった気がする
のう」如月「あッ。睦月ちゃん吹雪ちゃん、そんなに如月の下の毛が好きなの？」
睦月「撫で撫ですると気持ちいいんだもん」吹雪「少し湿ってる……はあはあ」

性器

如月「ふぶ……きちちゃん、鼻息が……当たるわ」吹雪「んふー、ふーッ」叢雲「ちよっと落ち着きなさいよ！」吹雪「どうしてそんな冷静なのよ！」叢雲「えっなんで怒られるの……」吹雪「だってこんなに、えっちな……」綾波「すごい……オトナっぽいですよね。素敵……」潮「あ、あの、眺ちゃんもきつと、あんなふうになるからね！」眺「あ、眺は別に……中身を磨くからいいの！」吹雪「でもきさちゃんは中身もオトナよね」



睦月「ど、どうかにや……」吹雪「改二になってからはじめて見せてもらうけど……やっぱり睦月ちゃんのおまんこ、綺麗でかわいい」霞「うわ……涙ぐんでる」如月「花びらのところとか、成長したでしよう？」吹雪「うん、色も濃くなってる。これも」睦月「うにゅっ！」吹雪「剥いたら……前よりおつきい。かわいい……」初春「しとどに濡れておるのう……昂ぶっておるのかや？」如月「臯月ちゃん」臯月「いいの？」睦月「うん、いいよ……」臯月「じゃあ、挿れるね……」睦月「ふにゅう」臯月「すごい、中、熱い……」んむ……ちゅび……これが、睦月の味があ」如月「睦月ちゃんみたいなの、素敵なお改二に、なれるといいわね」叢雲「ちよっ、吹雪、鼻血鼻血！」



放尿

吹雪「はあ……おしっこしてる
 睦月ちゃん、本当かわい……
 睦月「あ、改めてまじまじと観
 察されると恥ずかしいよお」
 「いつも海の上で、みんなです
 てるじゃない」睦月「あれはで
 も、ほんとに用を足すためだも
 ん。こういう、えっちな……ん
 終わった」吹雪「拭いたげるね」
 潮「そういえば提督が言ってた
 んですけど、人間の女の子って、
 潮たちほどみんなおしっこが好
 きなわけじゃないそうです」如
 月「もったいないわねえ。かわ
 いいところから、びゅーっとお
 小水が出るの、こんなに素敵な
 のに」霞「頭の痛い話だけど
 ……やっぱり、昔「フネだつ
 たから、なのかしらね」



如月「こ、この格好は……如月でも少し
 恥ずかしい、かしら」吹雪「まあまあ」
 睦月「睦月が見たなかで、一番ドキドキ
 したのが、これだったの」如月「ん……
 出すわね」阜月「すっごい。おしっここの
 穴から出てるのが丸見えだよ」如月「や
 あん。あっ、睦月ちゃん？」睦月「えへ
 へ、少し飲んじゃった。ポイラーが壊れ
 ちゃいそう」如月「もう」睦月「……き
 さちゃんとかんなことできて、睦月、
 とっても嬉しいのです」如月「……如月
 も、よ。睦月ちゃんや阜月ちゃん、吹雪
 ちゃんだけじゃない。昔「会ったこと
 もない、仲間になるはずだった子たちと
 いうしよにいられて、如月はいま」とて
 も……幸せ。これからも、ずつと、ね」

吹雪型一番艦 吹雪改二

下着姿

叢雲「アンタは二次改装でもあんまり育たなかったわよね」吹雪「ぐう」
綾波「まあまあ。吹雪はその、中身が」如月「すっかり、ね」皐月「えっ」
ちっちゃになっちゃった」吹雪「ふ」普通だよ」霞「それはない。断じて」

吹雪型五番艦 叢雲改二

吹雪「その点、叢雲ちゃんはいいなあ。私より身長伸びたし、あんなに細かったのに今は
がつちりしてるし、叢雲「ふん」まあね。少し肉が付すぎた気がしなくもないけれど。
鍛錬しないと、戦えないし、守れないもの」初霜「大丈夫よ。今ここでのあなたは、誰
よりも先に着任した前任秘書艦。私たち駆逐艦娘の嚮導艦であり、目標なんです」

胸部装甲・陰部



吹雪「ほ、ほーら叢雲ちゃん、ぴーすぴーす。皐月「うわー。秋雲のもってるエロ漫画みたいだね」叢雲「ツ……なんで、こんな方向へはっちゃけたのよこいつは！」如月「真面目な子ほど、いろいろの欲を押さえつけてるって言うしねえ……。んふ……。叢雲ちゃんの銀色のお毛毛、ふさふさでエッチね」皐月「前はポクや睦月と同じでつるつるだったのにね」

睦月「でも、前から吹雪ちゃん、なんとなくえつちな雰囲気はあったよね。しよっちゅうぱんつ見せてたし」吹雪「別に見せてたわけじゃ……。綾波「無意識にそういう願望があったというのでしょうか？」叢雲「間違いなくそれね。このエロ。エロ吹雪」吹雪「……」霞「妹に罵られて興奮してるわこの子」如月「濡れてる」

性器

叢雲「い、嫌がつてもやめないわよ」吹雪「いいよ……広げて」
綾波「はあ……前に見せっことしたときより、少し色が濃くなり
ましたね」霞「あんたたちそんなことしてたの!?」暁「あら、
霞だって——」霞「わー! わーっ!!」如月「いいじゃない。
霞ちゃんだって女の子だもの、こういうことに興味があるのは
全然おかしくないわ」吹雪「ね、霞ちゃん、私のおまんこ……
どう?」霞「し、知らないったら……」

吹雪「じゃあ叢雲ちゃんのは?」霞「なんで追撃してくんのよ!!
ほら、叢雲泣きそうじゃないの……」叢雲「……」綾波「叢雲、
興奮してるだけですよね」初霜「とつても、お豆が充血している
ものね」霞「ええ……」吹雪「霞ちゃん、触ってみて」霞「い、
いいの?」叢雲「……好きにしなさいよ」霞「……すごい、ぬる
ぬる」叢雲「は、あ」霞「……気持ちいいの? ……あとは、吹
雪にやってもらいなさい」

放尿&×××

吹雪「叢雲ちゃん……おしっこえっち、しよお……」叢雲「ん、こんな……どこも、みんなの、前でえ……」吹雪「どこでも、して、いいんだよお……艦娘だもん……」叢雲「ナニソレ……イミワカンナイ！」睦月「つて言いながら、下脱いで跨っちゃつてるしい」綾波「んッ……すみません、見ながら……致しますね」如月「叢雲ちゃん、かけて、あげて？」吹雪「あー」叢雲「お、大口開けて……覚悟、しなさい！」潮「あ、すごい、勢い……吹雪ちゃん、あんな、美味しそうに……はあ、はあ、あ、霞「うそ……すご……」睦月「いいにやあ……叢雲ちゃんのおしっこ……」如月「また如月のあげるから……ね？」



吹雪「わ、私のも、飲んでッ」叢雲「こんの、変態ネームシッブ……！」吹雪「こんなに、気持ちいいんだもん……！」2人してソロモン海に沈んだけど、今また、いつしよに生きてるんだって、感じるんだもん！」叢雲「うぐッ……発射管、ま、丸見えだわ」吹雪「おしっこ、出る……！」阜月「あはは、叢雲びしょ濡れだ、いいなあ……2人とも」霞「……初霜、あに泣いでんのだよ」初霜「か、霞さんもお……」綾波「ふ、ふウッ……どうしてでしょう、私、気持ち……いいのに、涙があ……」

綾波型一番艦 綾波改二

下着姿

叢雲「……まあ、あんたも育たなかったといえはそうね」綾波「子供っぽくてごめん
 なさい」吹雪「ううん、男の子みたいでかわいいよ」綾波「綾波は女の子です……」
 如月「吹雪ちゃん、めっ。でももうちよつとオトナっぽい下着も、そろそろどう？」
 綾波「あ、綾波にはまだ早いです」霞「ソロモン海の鬼神も、今はこんな子なのよね」

陰部

綾波「あつ……やあ……」如月「あら、おつゆが……
 さつき、ひとりでしたものねえ」吹雪「お毛毛もぐつ
 しより。途中だったから、くすぶってるでしょ？ ずつ
 とうるうるしてるし」綾波「くすん。吹雪のいじわる」
 吹雪「ごめんね。綾波ちゃんのえつちなところ見たかつ
 たから。もう少し待ってね」

胸部装甲

綾波「恥ずかしいです……」吹雪「ふひひ、ちっちゃいおっぱいの
 手触り！」綾波「やん」叢雲「妹にセクハラすんのやめなさいよ！」
 睦月「夕立ちちゃんがああで、綾波ちゃんがかうなの、なんでなのか
 にゃ？」

性器

睦月「うわ、すっごいえっちな匂い……」吹雪「真つ赤に充血したまんまだね。ねえ、ひとりエッチするどき、まだおもしろしちゃう？」綾波「か、改装してからは我慢できるもん……」皐月「ペロ……でもちよつとおしっこの味がするね」綾波「うそお」吹雪「ね、今のうち、おしっこ出しちゃお？」

自慰

綾波「はあ、あ、あつ」吹雪「綾波ちゃんのオナニー、すっごい激しくてエッチなんだよね」叢雲「なんで知ってんのよ」吹雪「ドツクでついうっかりわざと覗いちちゃって」叢雲「呆れた」吹雪「綾波ちゃんみたいな子でもこういふことするし、していいんだって思ってた……オカズにしました」叢雲「ほんつと呆れた」綾波「あ、あー」吹雪「あつ……待って大丈夫」皐月「結局おもしろししたと思つたら、ふぶきちが即座に口つけて飲んで」如月「姉妹愛ねえ」霞「その感想でいいのかしら本当に……」

放尿

吹雪「ほら、しーって。海の上だと思つてね？ おしっこし」綾波「んふ……潮はあん、かわい……綾波ちゃんすてきです」如月「やっぱり、駆逐の子がおしっこしっしするところが、一番かわいくてエッチね……」霞「い、いちいち言い方がいやらしいのよ」如月「いやらしいことしてるもの」吹雪「終わったね、すっごいかわいかったよ綾波ちゃん」綾波「お姉ちゃん、綾波、もう……」吹雪「うん。いいよ」

綾波型十番艦 潮改二

下着姿

初霜「育つ・育たないで言えば」初春「最初から育っておった者がおるのう」潮「そ、そんなに大したものじゃ」霞「あんたそれ阿武隈の前でも言えんの？」潮「ご、ごめんなさい」綾波「まあまあ。潮ちゃんも、前よりずっと頼もしくなっただと思えますよ」

胸部装甲

吹雪「あー。なんか、拝みたい。拝んでいい？」潮「おっばい」潮「あの、もう五体投地してます……」
「潮、ブラのサイズは大丈夫？」
「潮、あ、大丈夫です。ありがとうございます。」
「潮ちゃん、作戦中、翔鶴さんには、いろいろお世話になっているので……」

陰部

吹雪「こっちは、二次改装したら生えたよね」潮「い、一応七駆はみんな仲良しで素敵なのね！」潮「うん……曙ちゃんや、漣ちゃん、潮、すごく……嬉しい、です」



性器

如月「うふ、ひだひだの色が濃くなってるのがえっちなね。漣ちゃんや曙ちゃんも、今もしてる？」潮「なんか……そろそろ独り立ちしなさいって、漣ちゃんに言われて。最近……ひとりでできるよにならなりました」吹雪「偉いね。じゃあ、いつも自分でこの潮まんこ、いじってるんだね」霞「何なのよ……この無駄に冴えた口舌……」

放尿

叢雲「ちよっと、なんて格好させてんのよ！」吹雪「いやー、前にドツクで漣ちゃんがふざけて仕掛けていたのを見ちゃって。一度やってみたかったのではありません」霞「あ、頭が痛い」潮「あ、出ちゃう……」皐月「すごい、噴水みたい！」潮「やああん」綾波「潮ちゃんかわいい……綾波も、敷波にしてみたいかも」初春「吹雪型と綾波型の長女が揃って鼻血をだばだば出しておるわ」

自慰

睦月「潮ちゃん気持ちよさそう」吹雪「指慣れたね。ちゃんとひとりえっちの練習したのがわかるよ。それとも……たくさん……してるのかな？」潮「あ、はあ……ま、い、ち、い……え、ち、で、ごめん、なさい」如月「いいのよ。毎日オナニーして、好きな子のことを想って、ちゃんと気持ちよくなってる。それが艦娘として、今を生きるってことなんだから」潮「あ、あっ……ぼの、ちゃん……」暁「そういえば、結局曙と漣の、どっちが好きなのかしら？」吹雪「みんな好き、で、いいじゃない」

暁型一番艦 暁改二

下着姿

吹雪「特型駆逐艦吹雪、告白します！ 下着姿の暁ちゃんに興奮します！」 叢雲「突っこむ気も起きないわ、もう」 綾波「でも……綾波もドキドキしちゃいます。イケない感じで」 暁「失礼しちゃうわ、こんなえれがんとなレディをつかまえて」 初春「というか、暁型の艦橋は昔、わらわたちのように大きかったんじゃないの？」 少なくとも最初は、皐月「現実是非情だね」

胸部装甲・陰部

暁「どう？ 特型の完成形はすたいりつしゅでしよう？」 吹雪「ああ……いけない。エロい。つるぺたエロい。夕張さんや秋月ちゃんの気持ちかわかつた」 暁「何よもう！」 如月「でも、可愛いわ……皐月ちゃんといっしょに裸で遊ばせてビデオで撮りたいわ」 皐月「ボクはかまわないよ」 叢雲「不許可よ不許可！」



性器

「ど、どう……？ 暁だってひとりえっちするし、もう……じゃないのよ」吹雪「い、いやーこれは……」皐月「ボクと同じくらい、かな……」初春「さすがに少々、気が咎めるのう……」睦月「でも夕張さんだったらめめらなくペロペロするよねきつと」叢雲「まったくあのメロンは……」綾波「でも……かわいい。まだ指も、一二センチ砲も入らないでしょう？ ひとりでするときはどうして割れ目に……這わせるの。あと、クリのところこねたり、つついたり」潮「こう……ですか？」暁「ん……」吹雪「暁ちゃんも、えっちな顔、するんだ……ね。暁ちゃん、綾波ちゃん。私たち、もっと、知り合いたいな」

放尿

吹雪「私たちが、並んでいっしょにするの、はじめてだね」綾波「特型姉妹……といつても、吹雪や綾波と暁ちゃんでは艦容もずいぶん違いましたじ、戦争中はお仕事もバラバラでしたからね」暁「……三人とも、近いころにあの……で沈んだけどね」吹雪「だから、ね。今更すぎるけど……」ちやんと、姉妹になるう？」綾波「そのために……んっ……」暁「あっ……出ちゃった……気持ちいい……」吹雪「可愛いよ、暁ちゃんのおしっこ」暁「……お、お姉ちゃんたちのもね」



初春型一番艦 初霜改二

下着姿

如月「素敵なお肌着ですわ初春さま」初春「ホホホ、面映いのう」霞「へんなクリ。人のことは言えないけど、あんだもなんでそんなキヤラになったのかしらね」船神さまの気まぐれじやろうて。まあ、折角ごうして人の身を授かったのじゃ。所詮うたかたの生といえど、楽しみまねば損よ。のう初霜」

初春型四番艦 初霜改二

初霜「あの、あまり見ないで……」吹雪「やだ、可愛い」初春「妙なものよ。こやつ、改装したら逆に可愛げや、恥じらいが出てきよったわ。わらわ亡きあとの武勇伝を聞かされて感心しておったが、いささか勇ましますきらいがあったからの。姉としては、少々物足りないなさを感じておったところじゃ。勝手なものだが、な」初霜「も、もう……」睦月「可愛い！」

胸部装甲
・
陰部

皐月「あつ、毛生えてる」暁「ぐぬぬ、前は暁とおんなじだったのに!!」、如月「でも、少しだけ。可愛い割れ目がよく見えるわ」初霜「うう。もつと、ちゃんと生えないと不恰好だね」初春「ホホ、わらわも以前はそうじゃった。気長に構えておれ」叢雲「毛はともかく、いい身体。鍛錬を欠かさないだけあるわ」

綾波「初春も、その、いい身体……ですよね」吹雪「綾波ちゃん、目がすげべだよ」潮「でも、尖ったお胸とか、下……とか、すごくいい……です」初春「大層なものを持つておるうに……触ってみるかえ? ほれ」潮「ああ」睦月「潮ちゃんが昇天しそうなね」皐月「でも、二人並ぶと対照的というか、全然違うよね」初春「まあ、見た目は、な。それでも……わらわは初霜の、姉」をまたやれて、嬉しいぞよ」

性器

皐月「うわあ、大人のおそこだあ……如月のより、ぼっちりも
びらびらも大きくて、ぐにやぐにやしてる。えっちだあ……」
初春「ホホ、正面から覗きこまれるとさすがに照れるのう。初
霜、もそつと広げてみよ」初霜「こ、こう？」吹雪「あ……
心のおちんちんがイッチャイそう」初春「別に、致しても構わ
ぬぞ？」吹雪「……ちよつと、トイレ行ってきます」

綾波「初霜ちゃん、気持ちよさそう……」初春「暁ほどではないが、
ごはまだまだ幼いのう」初霜「初春のいじわる……」初春「すまぬ。
お主は愛い奴じゃ。そのように慕ってくれるようになって嬉しいぞ。
……遠慮は要らぬ。姉じゃからな。」昔、最期にお主を守れたこと、
わらわは誇っておる」初霜「！お、覚えて……！」



放尿

初春「泣くでない初霜。大丈夫じゃ。初霜「あのとき、爆弾が、初春に落ちて、火と、煙が、たくさん出て、初霜を隠して、隠したから、助かって」初春「うむ、うむ。よう覚えておるぞ。お主が無事でよかつたわい。お主が、いくさの終わりの瀬戸際まで武功を重ねたこと、わすかばかり力添えができたのじゃ。姉としてはこれほど誇らしいことはない」初霜「わ、わたし、たすけ」初春「大丈夫、大丈夫じゃ。すべては過ぎた話。今、ここにこうして、肌を重ね合っておるわらわとお主が、初春と初霜なのじゃ。今度は人の身にて、姉をやらせておくれ。子日も、若葉も同じ想いぞ」初霜「……姉さん……」初春「ふふ、やっとう呼んでもろうたわ。わらわは果報者じゃ。……なんじゃお主ら、ふらんだあすの犬の最終回でも観たような号泣っぷりじゃのう」

朝潮型十番艦 霞改二

下着姿

吹雪「讚えよ！」 暁「讚えよ！」 霞「それはもういいから！」 吹雪「いやいや...これはなかなか...いい身体になりましたね如月先生」 如月「そうですわね吹雪先生。すっかり安産型のお尻になったし、こっそりとカップつきのブラに...」 霞「このクズ駆逐艦どもが！」 吹雪「どうですか阿武隈先生」

長良型六番艦 阿武隈改二

阿武隈「ていうか、なんであたしが駆逐艦に脱がされているの...」 吹雪「まあまあ。いろいろ成長したり、しなかつたりした記録を残そうと思ひまして」 阿武隈「涎垂れてるわよ。んもう、おませさんなんだから...」 霞「えと、霞ちゃん、ちゃんと大人っぽく、なったわ」 霞「あ、ありが...とう。阿武隈...さんは、その、筋肉ついたわね」 皐月「あれ。霞ってあんなに人見知りする子だったっけ？」 如月「女心は複雑なのよ」



胸部装甲・陰部

叢雲「そもそも駆逐艦だけの集まりじゃなかったの？ コレ、吹雪「そのつもりだったんだけど、霞ちゃんも……阿武隈さんも呼んであげたほうが緊張しないんじゃないかと思って」綾波「水戦の旗艦どうしですからね」潮「色々……大変でじた。霞ちゃんに「将旗を移揚したときは。潮もお供したん、です、けど」阿武隈「潮ちゃん、大丈夫。大丈夫。ほら、あたし元気よ」潮「……下の、毛、ちゃんと生えそろいまじたね」阿武隈「……あたしだって、お姉さんなんですからね」

霞「……どう、かしら。改めて」阿武隈「うん。ちゃんと、心に身体もついてきてると、思う。あたしが沈んだあと、がんばったこと、船神さまが見てくれたのね」霞「……」阿武隈「ずっと、最後までついてあげたかったって、思ってた。足柄さんに色々教えてもらって……。あたしのあとを継いだっていう意気込みでがんばれたんだから、霞ちゃんのことを誇りなさいって、足柄さん言ってくれて、嬉しかった」

性器

阿武隈「霞ちゃん、ここ、かわいい……」霞「やあ……」阿武隈「霞ちゃん、いつも気を張ってて、少し心配だった。あたしだけじゃなくて、神通も矢矧も大淀も、気にしてたのよ。霞ちゃんとはとてもしっかり者だけど、それにあたしたちが甘えでちゃいけないって。むしろ……ちちゃんと甘えさせてあげたいって。霞ちゃん、二次改装でますますしっかりしたけど、そろそろ、ね、あたしたちを頼ることも、覚えてほしいな」

阿武隈「霞ちゃんも……こういうの、興味……あるのね」初春「これで恋多き乙女じゃからな」霞「初春、うっさい」阿武隈「霞ちゃんや不知火ちゃんのごと、こっちへ来てから、神通のほうに梅やんでた。目の届かないところであらう。でも、神通のほうに……」霞「その後、ずっと面倒見てくれて、ありがたうって。……いつまで、昔のこと引きずってるのかなあ、あたしたち。でもきつと、ずつとこうなんだと思う。ひきずって、ひきずること、今、を生きていけるんだらうな」

放尿

阿武隈「あだじもね……こういうこと、興味あるから。見たいから。霞ちゃん、おしっこするところ」霞「う、く……出る、から」阿武隈「すごい……一直線だ……さすが一水戦旗艦」霞「わけ、わかんないし……」阿武隈「かわいい……えっちい……夕張の気持ちかわかつちやっつた。見せてあげたんでしょ？」由良と、五月雨ちゃんが行方不明になって、夕張がおかしくなっちゃったとき。あいつ、見たものはしっぴかり覚えてて。ちよつとね、羨ましかつたの。……終わつた？ おしっこ、全部出た？」霞「ばかあ……死ぬほど恥ずかしかつたんだから！」阿武隈「……あたしも、見せてあげる、ね」



阿武隈「ん……出る……」吹雪「すごい……阿武隈さん動物みたい。エロい……あ！」潮「霞ちゃん、手でおしっこ受けてる……はああん……！」霞「熱い……」阿武隈、さん……生命……」阿武隈「霞ちゃん……ちゃんとお話できてなかったから、言うね。旗艦を継いでくれて、木村少将といっしょに戦つてくれて、ありがとう。二水戦の旗艦、お疲れさま。また、会えて、嬉しいです……！」霞「う、うううううう……うあああ……！」

睦月型五番艦 皐月改二

下着姿

吹雪「讚えよ!」 暁「讚えよ!」 霞「あ……ああもう、讚えよ!」 皐月「わーい、みんなありがとう!」 駆逐艦皐月「二次改装で改二になったよ!」 睦月「おめでと
う!」 長女として鼻が高いのです!」 如月「背が伸びたわね、手足もすんなり……
素敵よ、皐月ちゃん」 吹雪「何気にブラもしてる。おっぱい大きくなったんだね!」

胸部装甲・陰部

皐月「へへん……じゃーん!」 パワーアップしたよ!」 暁「あつははは、雷そっくり!」 でも本当、ちゃんと膨らんでる……ぐぬぬ」
吹雪「うーちゃんより少し大きいかな?」 かわいい。……あつ!」 お毛毛生えてる!」 如月「あら本当!」 皐月「バレた。まだ全然だけ
ど、そのうち如月みたいになるからね。……夕張姉ちゃんにも、おめでとうって、言ってもらって……ちゅーしてもらっちゃった!」



性器

皐月「えへへ……やっぱ、これ
 恥ずかしいね」如月「可愛い、
 おまんこ……。クリも花びらも
 ちっちゃい。こっちは、まだ
 まだこれからね」睦月「夕張さ
 ん、ここに指でしてあげたのね。
 妬げちゃうにや」皐月「睦月も
 如月も……。してもいいよ」睦
 「だ、大胆ね……！」如月「聞
 いた？ 睦月ちゃん」睦月「聞
 いた！ 如月ちゃん」如月「改
 二のお祝いに、五月ちゃんにお
 しっこをさせまじょう！」睦月
 「さんせー！」皐月「ええ、ええ
 そっち!? いいけど」



放尿

如月「さあ皐月ちゃん、如月が抱っこしてあげて、しー
 しーしましうね」皐月「ちよ、超ハズいんだけどコレ!?」
 吹雪「皐月ちゃんのおしっこ、見たい！ ささ、思いきつて」
 皐月「そんな真正面から……。あ、出る」睦月「わあ出た！」
 如月「おしっこ皐月ちゃん、可愛いわ……。吹雪ちゃん、どん
 なふう？」吹雪「うん。割れ目が少し開いて、じよるじよる
 おしっこが出てる。お尻にけっこう伝つて……。ぺろ。あん
 まり味はしないかな」霞「ナチュラルにおしっこ舐めたわね
 この子……」睦月「はにやああ、かわいくてえつちにやしい
 ……。皐月ちゃん、ドックとか遠征とかで、もっと一緒に、
 おしっこしよ！」皐月「うん……。これからもよろしくね、
 睦月、如月、吹雪、霞、みんな」

初出一覧

睦月・如月・吹雪・叢雲・綾波・潮・暁・初春

…おしっこれくしょん

駆逐艦編 (2013.12.31.)



初霜…おしっこれくしょん

駆逐艦編 弐 (2014.05.25.)



おしっこれくしょん 改二編
Combined Fleet Girls Collection FAN BOOK Vol.14

発行日 2016年03月06日

発行サークル LUNATIC PROPHET
web <http://circle.lunaticprophet.org/>
pixiv id=92903

発行人 有村悠 Yuu Arimura
e-mail edgeoftheseason@gmail.com
twitter id=@y_arim

印刷所 株式会社 くりえい社
web <http://www.kurieisha.com/>

produced by Lunatic Prophet
2016.03.06.

××!? あたしが!? この、クズが!!